

客観的評価指標（案）及び調書（案）

令和〇年度 京都市公共事業評価(再評価)事業調書<試行版>

No. 〇

1 事業の概要

担当: 〇〇局〇〇部〇〇〇〇〇〇課

事業名	〇〇事業 〇〇〇〇線(〇〇バイパス)	事業区間	〇〇区〇〇〇〇〇町 ~ 〇〇区〇〇〇〇〇町
事業の目的 及び概要	<u>〇〇〇な〇〇〇整備(事業のキャッチフレーズ)</u>		
	延長又は面積: L=1,000m 代表的な幅員: W=20m 用地買収面積: A=10,000m ²		
<p><主な事業効果></p> <ul style="list-style-type: none">・渋滞解消・災害時のリダンダンシー確保・浸水被害の軽減			
<p><整備のポイント></p> <ul style="list-style-type: none">・両側に歩道を整備(幅〇m)・車道を拡幅(〇m→〇m)			
<p>説明資料(箇所図・模式図・断面図等)</p>			

2 事業の必要性等に関する視点

〇〇事業 〇〇〇〇線(〇〇バイパス)

(1) 事業の進捗状況

都市計画決定	平成〇〇年度	全体事業費		100.00 億円	令和2年度まで (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (予算額)	令和5年度以降	進捗率(実施数量) 完了/全体
事業採択	平成〇〇年度	(内訳)	工事費	40.00 億円	20.00 億円	5.00 億円	5.00 億円	10.00 億円	道路整備 20.0 % 200m/1,000m
用地着手	平成〇〇年度		用地費	50.00 億円	30.00 億円	1.00 億円	1.00 億円	18.00 億円	用地買収 60.0 % 6,000m ² /10,000m ²
工事着手	平成〇〇年度		その他 (設計費等)	10.00 億円	5.00 億円	0.50 億円	0.50 億円	4.00 億円	—
完成予定	前 平成〇〇年度 変更 令和〇〇年度 (事業認可最終年度)	年度別事業費		—	55.00 億円	6.50 億円	6.50 億円	残事業費	—
		進捗率 (執行事業費)		—	55.0 %	61.5 %	68.0 % (見込み)	32.00 億円	
進捗状況の説明 事業計画の変更等									

(2) 事業を巡る社会経済情勢や地域状況等の変化

--

(3) 上位計画における事業の位置付け等

計画名	事業の位置付け(事業によって推進する施策・取組)
はばたけ未来へ！京プラン2025(京都市基本計画)	
京都市都市計画マスタープラン	
〇〇整備方針	
〇区基本計画	

(4) 指標による評価

(便益と費用の単位:億円)

事業の投資効果	費用便益分析 B/C = 1.00	便益(B) = 100.0	費用(C) = 100.0
---------	-------------------	---------------	---------------

3 事業進捗の見込みの視点

事業の実施のめど 進捗の見通し等	
---------------------	--

4 対応方針案

※該当する項目は、□を■に変更

対応方針	<input type="checkbox"/> 事業継続 <input type="checkbox"/> 事業中止 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業再開
理由	

【参考資料等】

--

《客観的評価指標》

〇〇事業 〇〇〇〇線(〇〇バイパス)

(1) 京都市基本計画における政策の体系と政策分野

うるおい	1 環境	2 人権・男女共同参画	3 市民生活とコミュニティ	4 市民生活の安全	5 文化	6 スポーツ		
活性化	7 産業・商業	8 観光	9 農林業	10 大学	11 国際			
すこやか	12 子ども・若者支援	13 障害者福祉	14 地域福祉	15 健康長寿	16 保健衛生・医療	17 学校教育	18 生涯学習	
まちづくり	19 危機管理・防災・減災	20 歩くまち	21 土地・空間利用と都市機能配置	22 景観	23 建築物	24 住宅	25 道と公園・緑	
	26 消防・救急	27 暮らしの水						

(2) 事業の効果や必要性を評価するための指標 《道路・街路事業》

※該当する指標は、□を■に変更し、指標チェックの根拠を記入
計画変更等により、チェックが外れる場合は、■を□に変更し、外した理由を記入

政策分野とキーワード			指標(期待される効果)	指標チェックの根拠又は外した理由
うるおい	環境	環境の保全・回復	<input type="checkbox"/> 自動車からのCO2(二酸化炭素)、NOX(窒素酸化物)、SPM(浮遊粒子状物質)排出量の削減	渋滞緩和(走行速度の向上)による効果
			<input type="checkbox"/> 自動車騒音の低減効果	排水性舗装の設置
			<input type="checkbox"/> 市街地における雨水浸透を推進、ヒートアイランド現象の緩和や健全な水循環系の回復に寄与	透水性舗装、雨水浸透施設の設置
			<input type="checkbox"/> 都市の緑化を推進、ヒートアイランド現象の緩和や地球温暖化防止に寄与	街路樹、植栽の設置
	市民生活とコミュニティ	地域コミュニティの活性化	<input type="checkbox"/> 地域の交流機会が増える、居場所や活動の場として利用	緑地帯の整備
	市民生活の安全	安全(防犯・事故防止)の推進	<input type="checkbox"/> 安全な歩行空間を確保	歩道の新設・拡幅、車両防護柵の設置
<input type="checkbox"/> 通行区分の整理等による、安全性の向上(交通事故の防止)			交差点形状の改良、自転車走行推奨帯の設置	
<input type="checkbox"/> 夜間や雨天時の視認性・安全性の向上(交通事故の防止)			道路照明の設置、排水性舗装の採用	
活性化	産業・商業	事業環境の向上	<input type="checkbox"/> 移動時間の短縮、ばらつき(渋滞による遅延等)の縮小による、流通の効率化	渋滞緩和(走行速度の向上)による効果
	観光	京都観光の振興	<input type="checkbox"/> 観光に関わる利便性向上やイメージアップ等、京都観光の振興に寄与	観光地やP&R駐車場へのアクセス、景観の向上
すこやか	障害者福祉	ユニバーサルデザインの普及促進	<input type="checkbox"/> すべての人にとって安心・安全で利用しやすい、バリアフリーな公共施設を提供	段差の解消、点字ブロックの設置
	学校教育	通学路の安全対策	<input type="checkbox"/> 歩車分離された安心・安全な通学路として利用	〇〇小学校
	危機管理・防災・減災	地域防災力の向上	<input type="checkbox"/> 避難所・広域避難場所へのアクセスが向上	〇〇公園・〇〇グラウンド
			<input type="checkbox"/> 緊急輸送道路またはその補助道路として利用	〇〇線(第〇次緊急輸送道路)
			<input type="checkbox"/> 通行止めによる孤立集落の減少	〇〇地区
			<input type="checkbox"/> 主要道路の通行止め時に代替道路として利用(大幅な迂回の回避)	〇〇道路の代替道路

まちづくり			<input type="checkbox"/> 道路のり面維持保全計画における要対策箇所の解消	斜面の落石・崩壊対策、代替道路の確保
			<input type="checkbox"/> 異常気象時通行規制区間(大雨による通行止め)等の解消	斜面の落石・崩壊対策、代替道路の確保
	歩くまち	公共交通優先のまちづくり 良好な歩行空間の創出 自転車利用環境の向上	<input type="checkbox"/> 鉄道駅・バスターミナルへのアクセス向上や交通結節機能の強化	〇〇駅へのアクセス向上、乗降場・駐輪場の整備
			<input type="checkbox"/> 路線バスの時間信頼性(定時運行)の向上や新路線の設置等、バスの利便性が向上	〇〇バス、バス停の改良
			<input type="checkbox"/> ゆとりある歩行空間の確保等、歩行の快適性が向上	歩道の新設・拡幅、透水性舗装の設置
			<input type="checkbox"/> 歩行者との分離等、自転車の快適性が向上	自転車走行推奨帯(矢羽根)の設置
	土地・空間利用と都市機能配置	土地利用の促進 魅力と活力のある都市づくり	<input type="checkbox"/> 沿道での開発等、土地利用の促進	道路の新設・拡幅、歩道の新設
			<input type="checkbox"/> 地域資源の活用等、特色あるまちづくりへの貢献	地域ゆかりの整備テーマ、ワークショップ等
	景観	景観の保全・創出	<input type="checkbox"/> 景観を阻害する要因の除去等、景観の保全に寄与	電柱の削減、老朽構造物の除却
			<input type="checkbox"/> 周辺の自然や歴史的景観と調和した施設整備等、良好な景観の創出	ILB・石畳風舗装、街路樹の設置、夜間照明づくり
	道と公園・緑	円滑な移動・輸送の確保 都市の活力向上	<input type="checkbox"/> 現道の離合困難箇所等の解消またはその代替道路として利用	〇〇箇所
			<input type="checkbox"/> 走行しやすい車道(車線)の確保等、自動車の快適性が向上	道路拡幅、線形改良
			<input type="checkbox"/> 移動時間の短縮、ばらつき(渋滞による遅延等)の縮小による、到着時間の信頼性が向上	渋滞緩和(走行速度の向上)による効果
			<input type="checkbox"/> 主要渋滞箇所の渋滞緩和に寄与	〇〇交差点
			<input type="checkbox"/> 生活道路への通過交通の流入を抑制	〇〇地域
			<input type="checkbox"/> 高速道路等の広域道路ネットワークまたは主要幹線道路とのアクセスが向上	〇〇道路
<input type="checkbox"/> 地域の主要な施設(区役所等の公共施設や大規模な生活利便施設等)へのアクセスが向上			〇〇区役所	
消防・救急	安心・安全なまちづくり	<input type="checkbox"/> 救急医療施設(二次)へのアクセスが向上	〇〇病院	
		<input type="checkbox"/> 袋路や細街路、密集住宅地等で、消防・救急活動に支障がある地域の解消	〇〇町	
		<input type="checkbox"/> 火災時の延焼遮断帯としての効果	幅員12m以上、街路樹の設置	
くらしの水	雨に強いまちづくり	<input type="checkbox"/> 市街地における雨水浸透を推進、雨水の流出を抑制	透水性舗装、雨水浸透施設の設置	
その他の効果や必要性 (事業特有の効果・新たな指標の追加等)		<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>		
特記事項	・上記指標に関する特記事項や補足説明、環境・景観への配慮、市民協働の取組 等			

令和〇年度 京都市公共事業評価(事後評価)事業調書

No. 〇

1 事業の概要

担当: 〇〇局〇〇部〇〇〇〇〇〇課

事業名	〇〇事業 〇〇〇〇線(〇〇バイパス)	事業区間	〇〇区〇〇〇〇〇町 ~ 〇〇区〇〇〇〇〇町
事業の目的 及び概要	<u>〇〇〇な〇〇〇整備 (事業のキャッチフレーズ)</u>		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><主な事業効果></p> <ul style="list-style-type: none"> • 渋滞解消 • 災害時のリダンダンシー確保 • 浸水被害の軽減 </div>		
延長又は面積 : L=1,000m 代表的な幅員 : W=20m 用地買収面積 : A=10,000m ²			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p><整備のポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> • 両側に歩道を整備 (幅〇m) • 車道を拡幅 (〇m→〇m) </div>			

2 事業の実施状況等

〇〇事業 〇〇〇〇線(〇〇バイパス)

(1) 事業の実施状況

都市計画決定	平成〇〇年度	全体事業費		(実績)	(当初)	(増減)	事業費の増減理由
				110.00 億円	100.00 億円	+10.00 億円	
事業採択	平成〇〇年度	(内訳)	工事費	55.00 億円	40.00 億円	+15.00 億円	事業期間の変更理由
用地着手	平成〇〇年度		用地費	45.00 億円	50.00 億円	-5.00 億円	
工事着手	平成〇〇年度		その他 (設計費等)	10.00 億円	10.00 億円	0.00 億円	
完成	当初 平成〇〇年度	事業期間(変更年数)		市民一人当たりのコスト			
	実績 令和〇〇年度	〇年間(〇年延伸)		(総事業費/市総人口)	7,614 円/人		
実施過程での 課題や工夫等							

(2) 事業を巡る社会経済情勢や地域状況等の変化

--

3 事業実施に伴う各種効果等

(1) 上位計画における事業の位置付け等

計画名	事業の位置付け(事業によって推進した施策・取組)
はばたけ未来へ！京プラン2025(京都市基本計画)	
京都市都市計画マスタープラン	
〇〇整備方針	
〇区基本計画	

(2) 指標による評価

(便益と費用の単位:億円)

事業の投資効果	費用便益分析 B/C = 1.00	便益(B) = 100.0	費用(C) = 100.0
---------	-------------------	---------------	---------------

(3) 事業実施の効果

--

4 対応方針案

今後の事後評価の必要性	
改善措置の必要性	
同種事業の計画・調査のあり方 事業評価の手法等について	

【参考資料等】

--